

水俣市の石垣文化の再考

水俣市民の「水俣の歴史的遺構（蹟）を残す会」との共同現地調査簡易報告

残す会 専門アドバイザー 糸長浩司

★下記は、水俣市の東部の中山間地域の久木野の防風石垣及び石垣階段状の住宅と畑地



石を割ったときの→穴跡も発見



昭和時代にも隣近所の共同で作られている



★水俣城の石垣、江戸期の干拓塩田用の百間塘・樋門用の石切り場？探索



水俣城の石垣の石、割ったときの矢穴跡



百間塘の近くの石切丁場か、矢穴がある



百間塘の近くのもう一つの石切丁場か

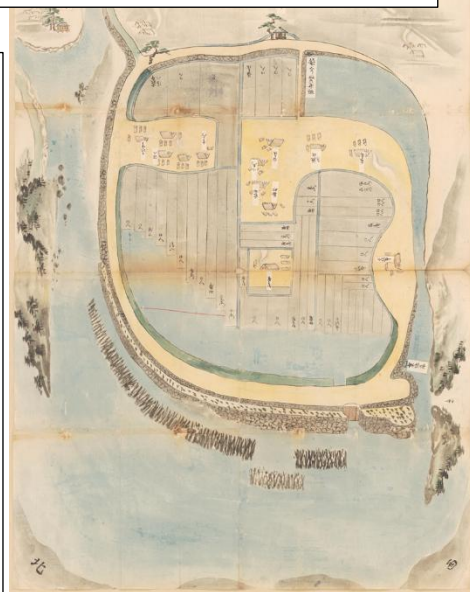


上の写真の横の石引丁場か、下にかつての海



上の石切丁場内の矢穴と割れた石

右図は、
百間塘の後、
100 年後の
1797 年に造
成された外
浜塩田、大廻
塘の絵図、石
垣が見える。
百間塘も同
様の石積と
推察



Minamata Tenaga Mategata shin shiohama, tomode hidariya ishigaki rangui deki ezu

(水俣手永馬刀潟新塩浜、塘手左屋石垣乱杭出来繪圖) 1667 and 1797